
平成12年5月28日(日)

第二七九回 史跡めぐり 資料

古墳・高級住宅地・溪谷そして最後は美術館

越谷市郷土研究会



第279回 史跡めぐり「古墳・高級住宅地・溪谷そして最後は美術館」
 平成12年5月28日(日) 午前9時 東武線越谷駅東口集合
 コース 越谷駅＝中目黒駅＝多摩川園駅…浅間神社古墳…亀甲山古墳…多摩川古墳群…宝来山古墳…浅間様古墳…田園調布駅＝等々力駅入口…御厩山古墳…等々力溪谷公園…等々力溪谷第3号横穴墓…野毛大塚古墳…五島美術館…上野毛駅＝自由が丘駅＝中目黒駅＝越谷駅
 参加費 3,000円(交通費・入館料・資料代他) 昼食各自持参
 案内者 幹事 宮川 進

今日、歩く古墳について

1. 多摩川沿いの、この古墳群は埼玉県民にとって見ておく必要がある

行田市の「さきたま古墳群」は、もう何回もご覧になっておられることでしょう。あの中で一番古い、そして有名な国宝の鉄剣を出土した「稲荷山古墳」…5世紀末…から約100年にわたり、あの行田市埼玉の地に古墳は造られつづけてきました。何らかの権力があのあたりに存在したことを示しているわけです。

では、その「稲荷山古墳」の前は武蔵の国の権力（者）は、どこにあったのでしょうか。実は、今日歩く多摩川台のあたりにあったようなのです。

亀甲山や宝菜山古墳は4世紀後半の古墳です。

「さきたま古墳群」を見るなら、その前に栄えた「多摩川台の古墳群」を見ておく必要があるのです。

2. なぜ、権力は南武蔵から北に移動したのか

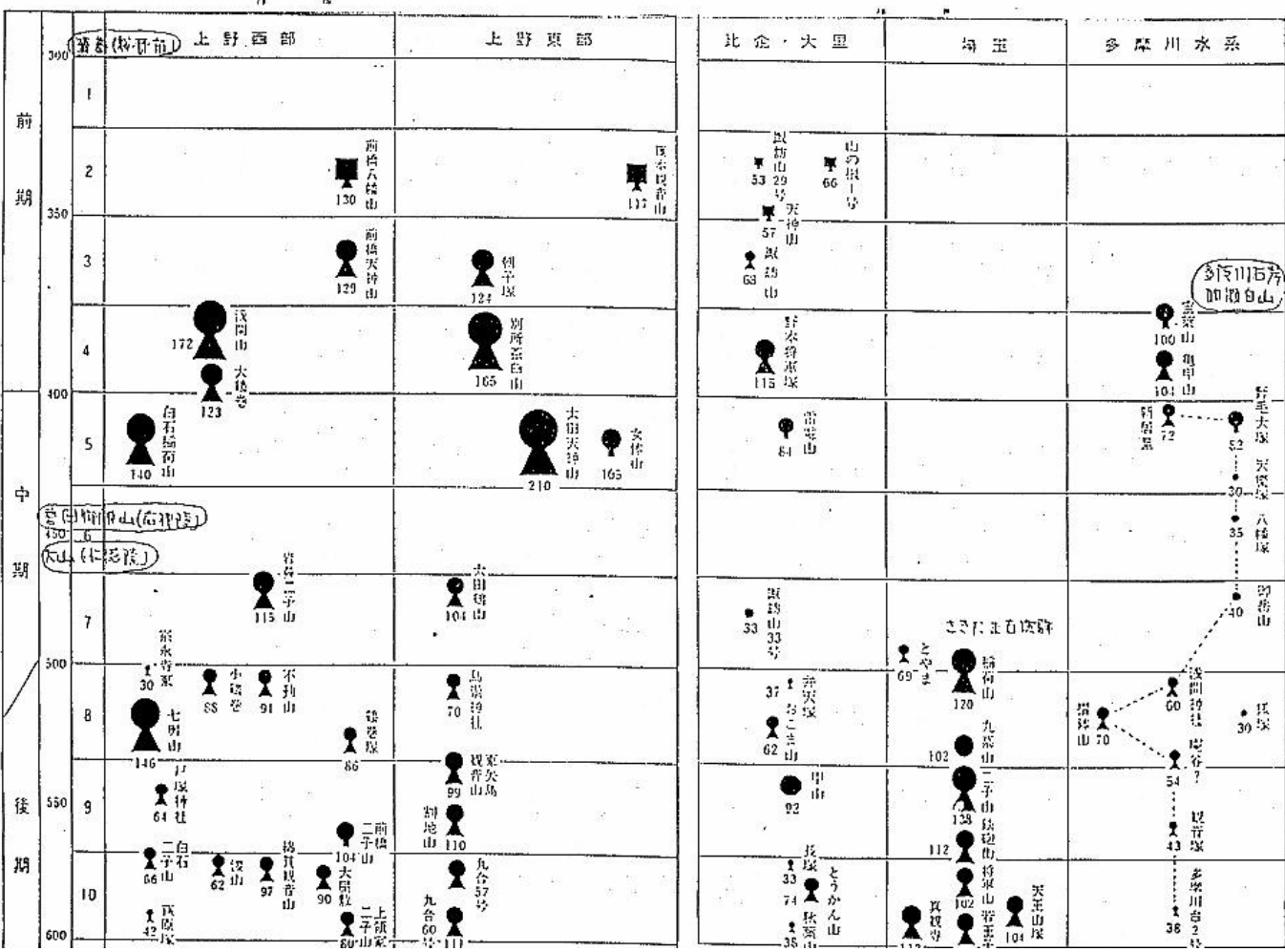
わかりません。例えばの回答としては、5世紀の中頃、非常に強大であった「毛野（けぬ）」の勢力と、それを壊そうとするヤマト政権の争いが原因であるという説もあります。「毛野」は勢力を拡大し、南武蔵にまで影響を与えるようになった。この状況を憂慮したヤマト政権は「毛野」を滅ぼすべく戦力を送り、それを壊滅させた。

「さきたま古墳群」をつくった人達はヤマト政権から遣わされ、「毛野」の勢力を打ち倒し、その後を見守るために行田に駐在した人達であるというわけです。

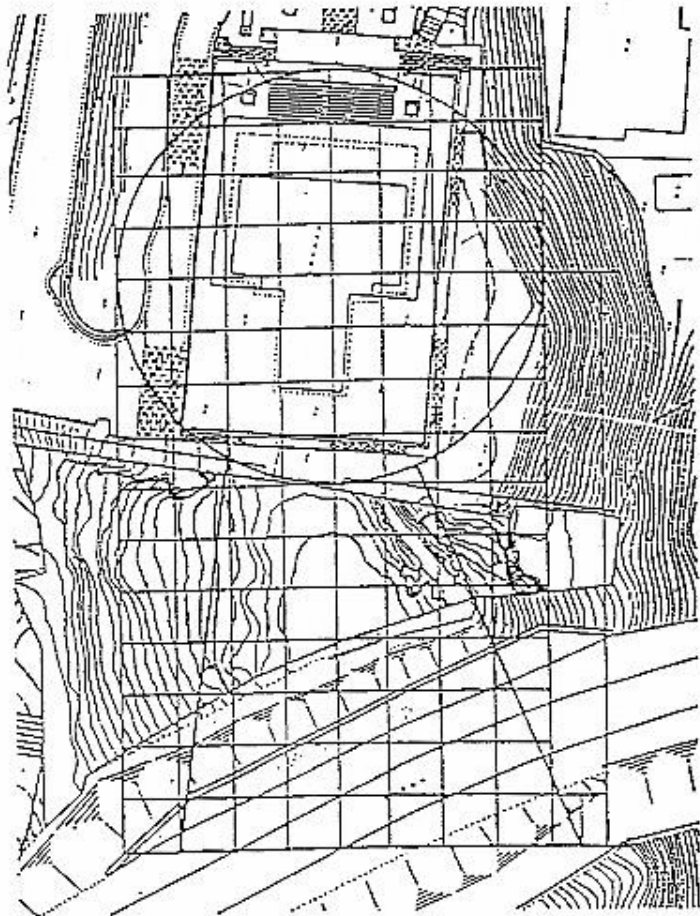
3. 日本書紀・安閑天皇元年の条の記事

武蔵の国で笠原直使主（かさはらのあたのおみ）とその同族の小杵（おき）が国造（くにのみやっこ）の地位を争った。小杵はひそかに上毛野君小熊（かみつけのきみ・おぐま）に援助を求め、使主を殺そうとした。使主は逃げて朝廷に訴えた。朝廷は裁断をくだし、使主を国造とし、小杵を殺した。

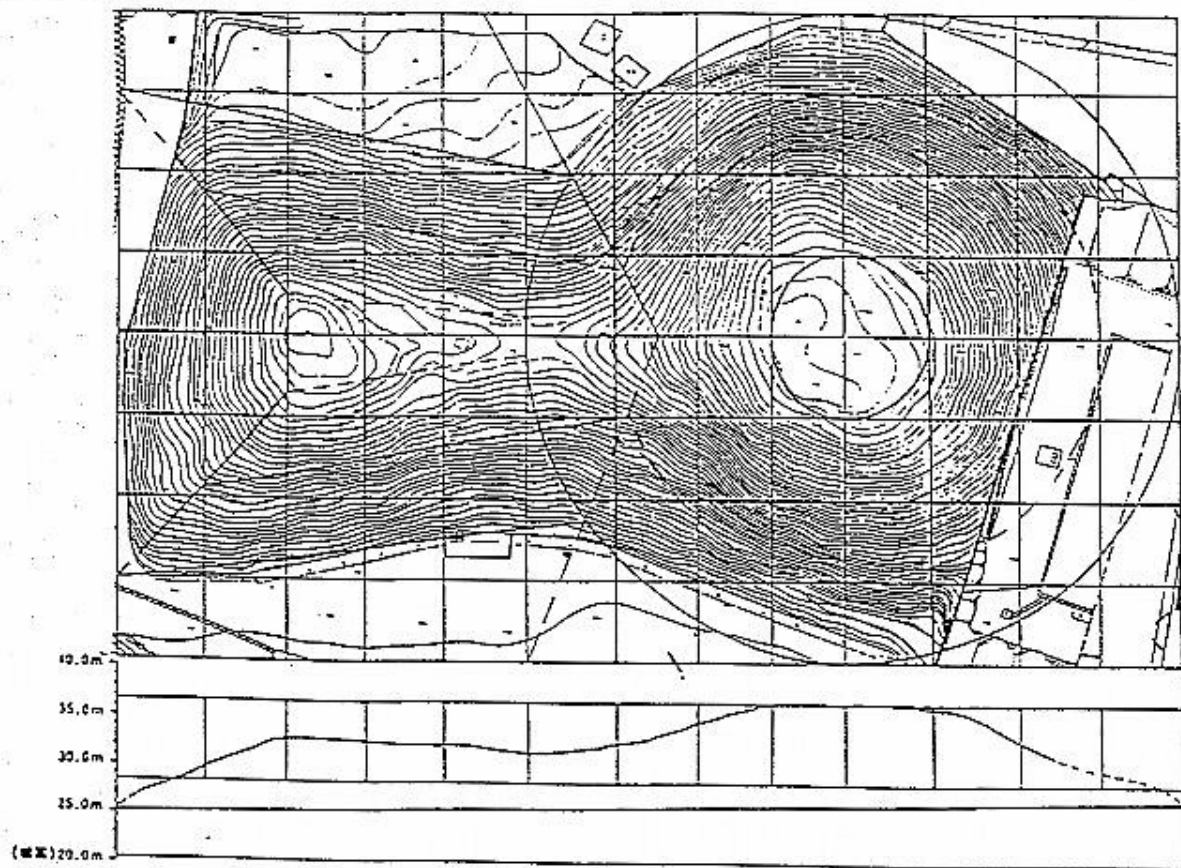
この記事はヤマトと武蔵、毛野の関係を暗示しているのではないかという説もあります。（ただし、安閑天皇は継体天皇の次で6世紀前半）



浅間神社古墳の築造企画図



龜甲山古墳の測量図

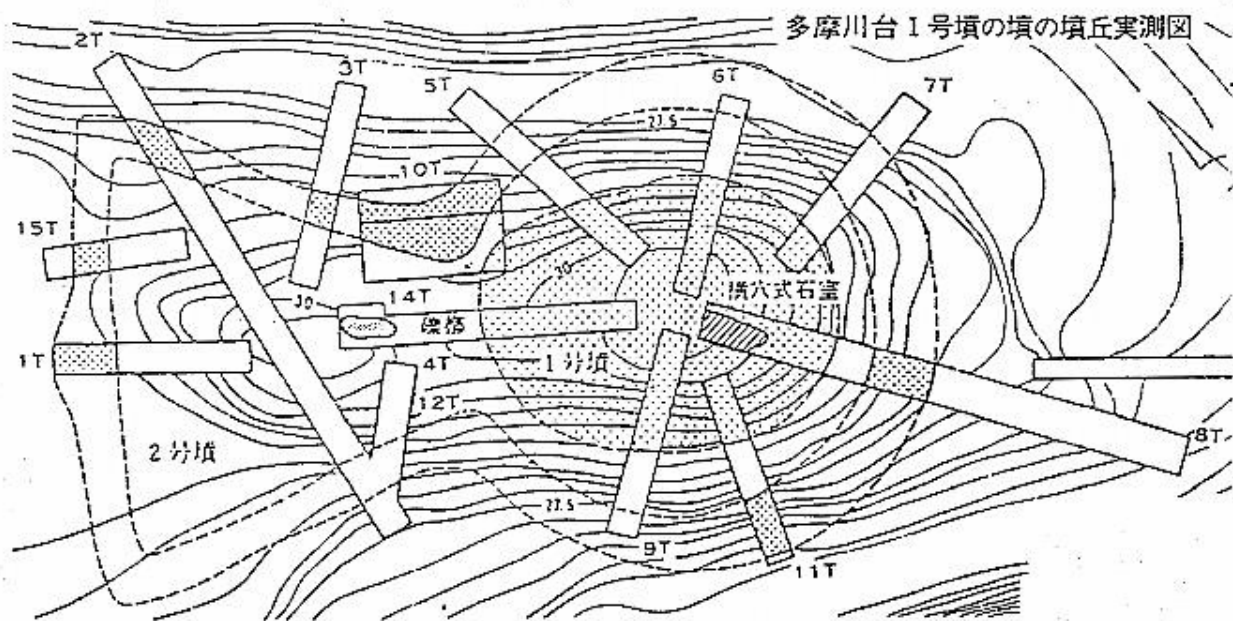
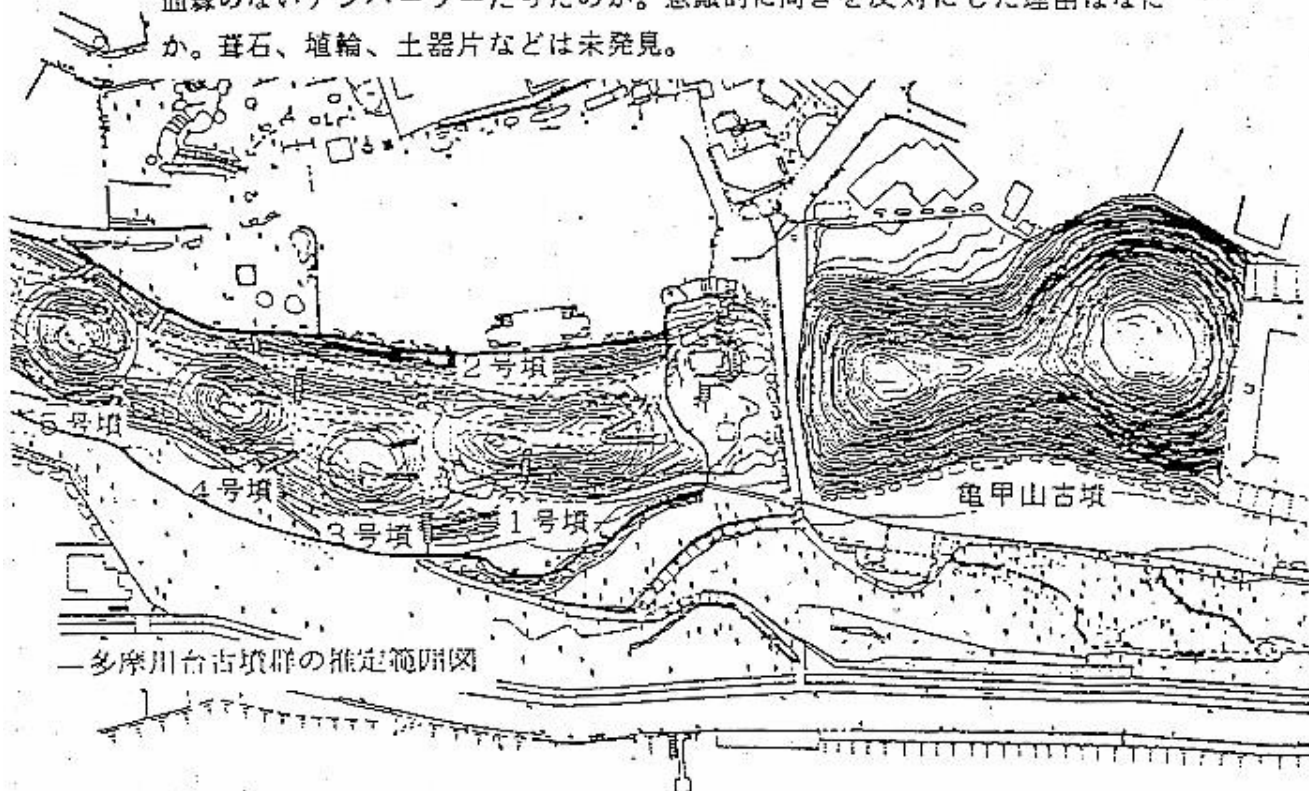


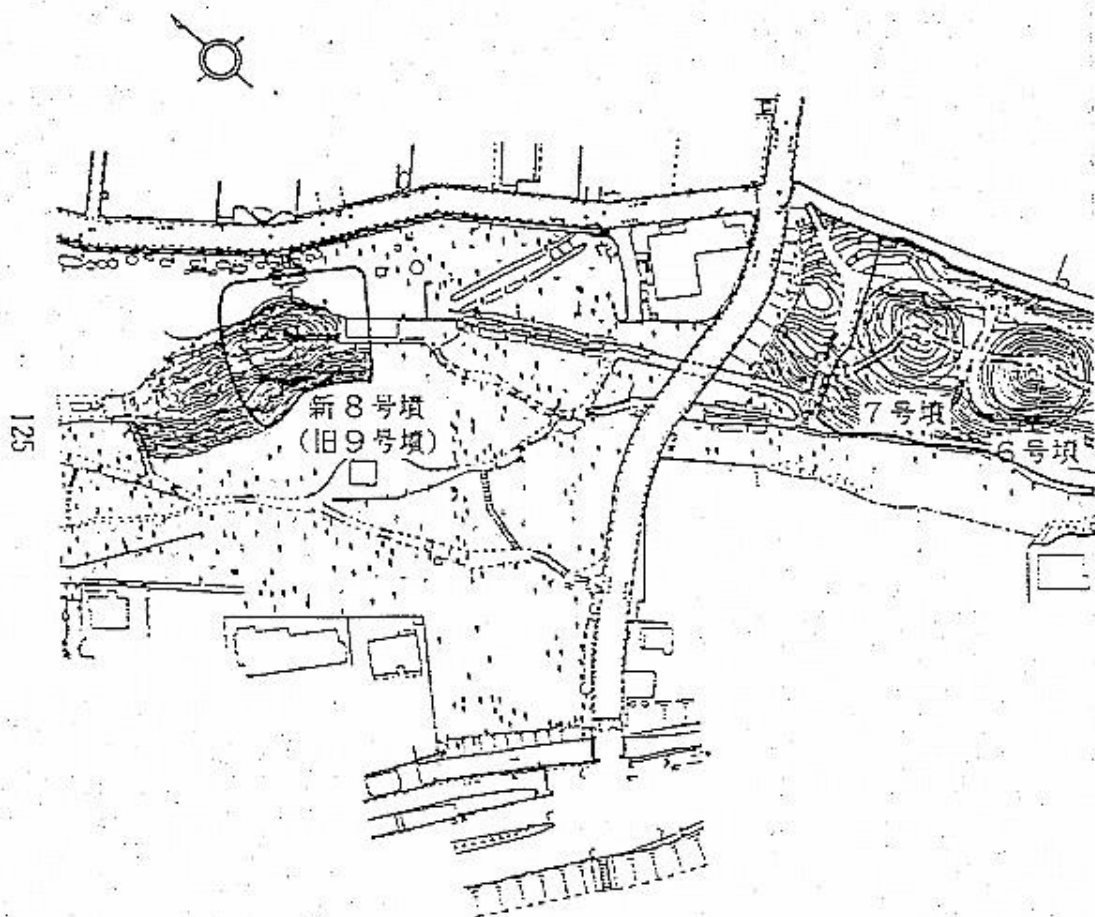
10. 浅間神社古墳 (大塚町誌1・前方後円墳・60m・5世紀末~6世紀初)

前方部は北側の東横線により破壊。人物、馬、円筒、朝顔形の埴輪が出土。主体部は破壊されたと思われる→竪穴系の粘土埴か木棺直葬、礎礎であったか。

11. 亀甲山古墳 (大塚町誌1・前方後円墳・107.25m・5世紀前半)

宝菜山古墳の主からの政権委譲がすぐ想像されるが、子供なのか、兄弟か、血縁のないナンバーツーだったのか。意識的に向きを反対にした理由はなにか。葦石、埴輪、土器片などは未発見。





12. 宝菜山古墳 (相模野4・前方後円墳・97.5m・4世紀前半)

主体部は粘土層。倣製四獣鏡出土。右岸の川崎市加瀬白山古墳に続き多摩川下流部左岸では最初の政權をうちたてた盟主の墓か。

出土品は他に玉類、直刀、紡垂車型石製品など。

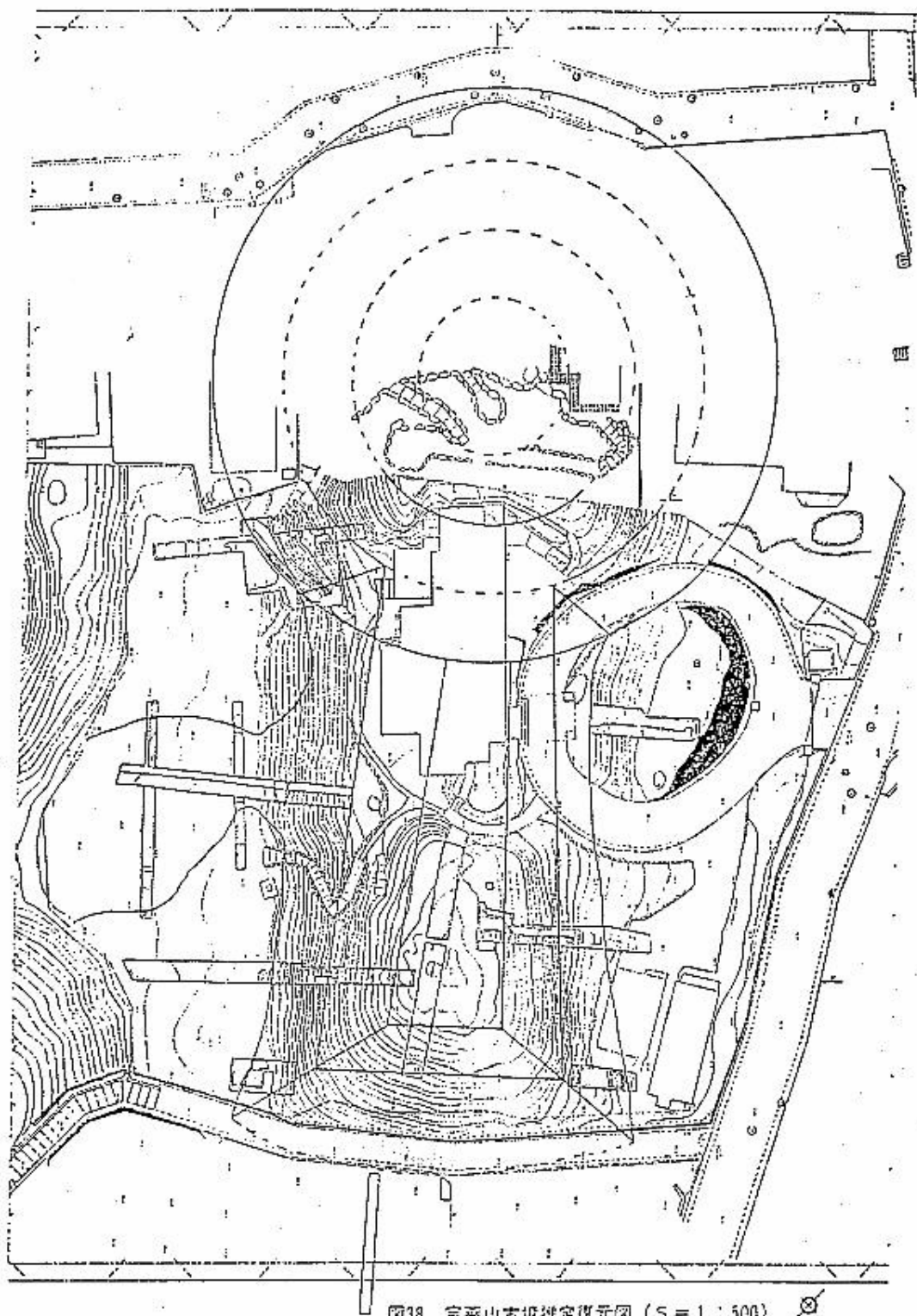


图38 高家山古坟推定复原图 (S = 1 : 500) ⊗

2、浅間城古墳（俗称穴八幡、国回三十四号） 大田区指定史跡

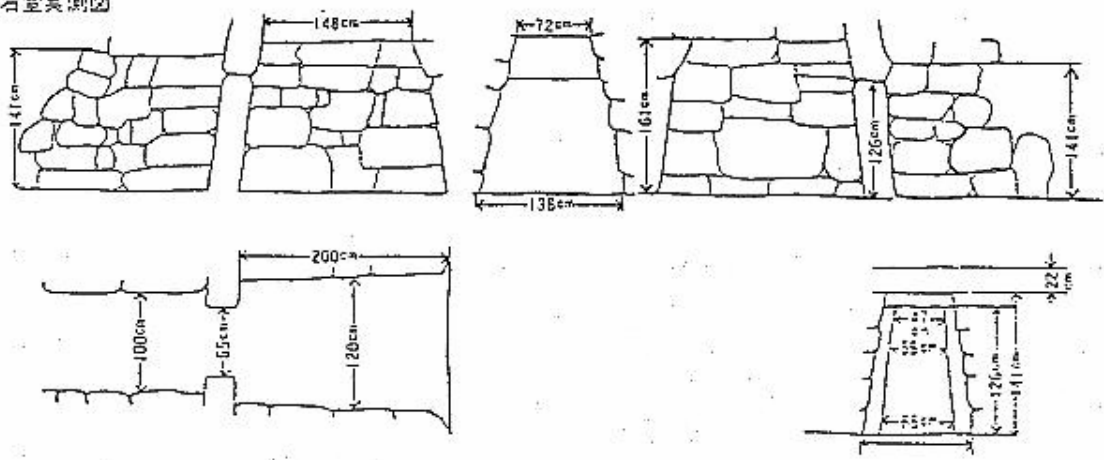
所在地 田園誌巻四一三三

区内で唯一竪穴式石室の見える古墳です。明治のころまでは、墳丘が残っておりましたが、現在では宅地造成のため、墳丘の北半分が埋め立てられ、南半分は削られています。昭和五十五年墳丘の規模を調査したが大田区教育委員会には北半分を発掘調査しましたが、地盤が軟弱なため、墳丘と想定されるレベルまで掘ることは出来ず、墳丘の規模はわかりませんでした。時期としては古墳時代終末期にあたるかと考えられています。



浅間城古墳石室

浅間城古墳石室実測図



明治時代に描かれた浅間城古墳（俗称穴八幡）

16. 御岳山古墳 (世田谷区等々力1・円墳・40m・5世紀後半)

七鈴鏡、短甲二領、直刀、須恵器などが出土。埋葬施設は木棺を粘土で覆った粘土椁と想定。七鈴鏡には毛野(群馬・栃木)の影響が感じられる。

短甲は鋳留の手法による当時としては新しいもの。埴輪も出土している。

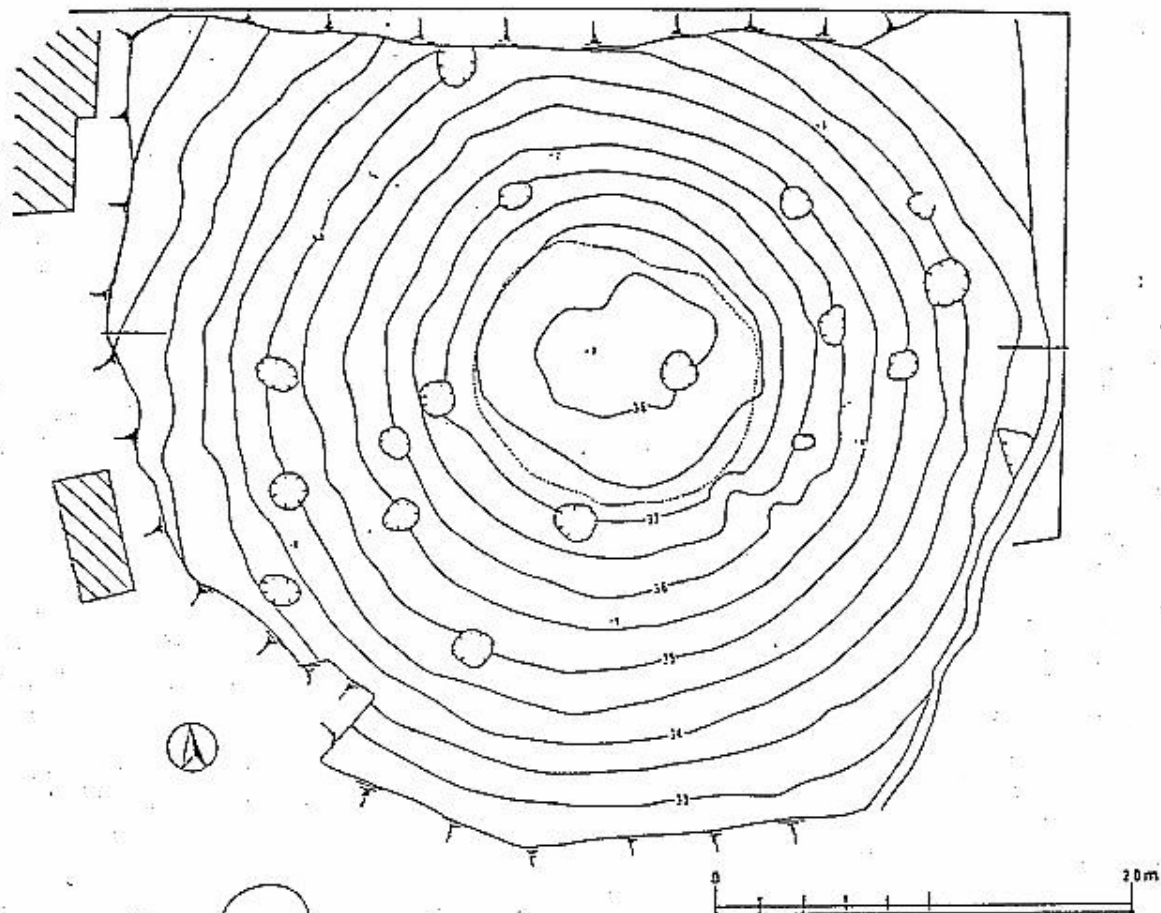


Fig 4 御岳山古墳平面図

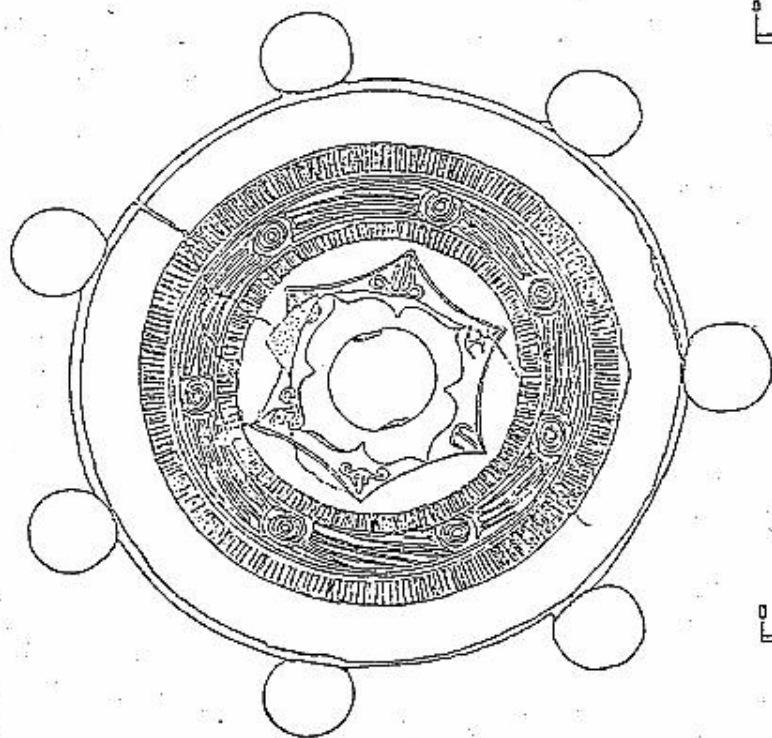
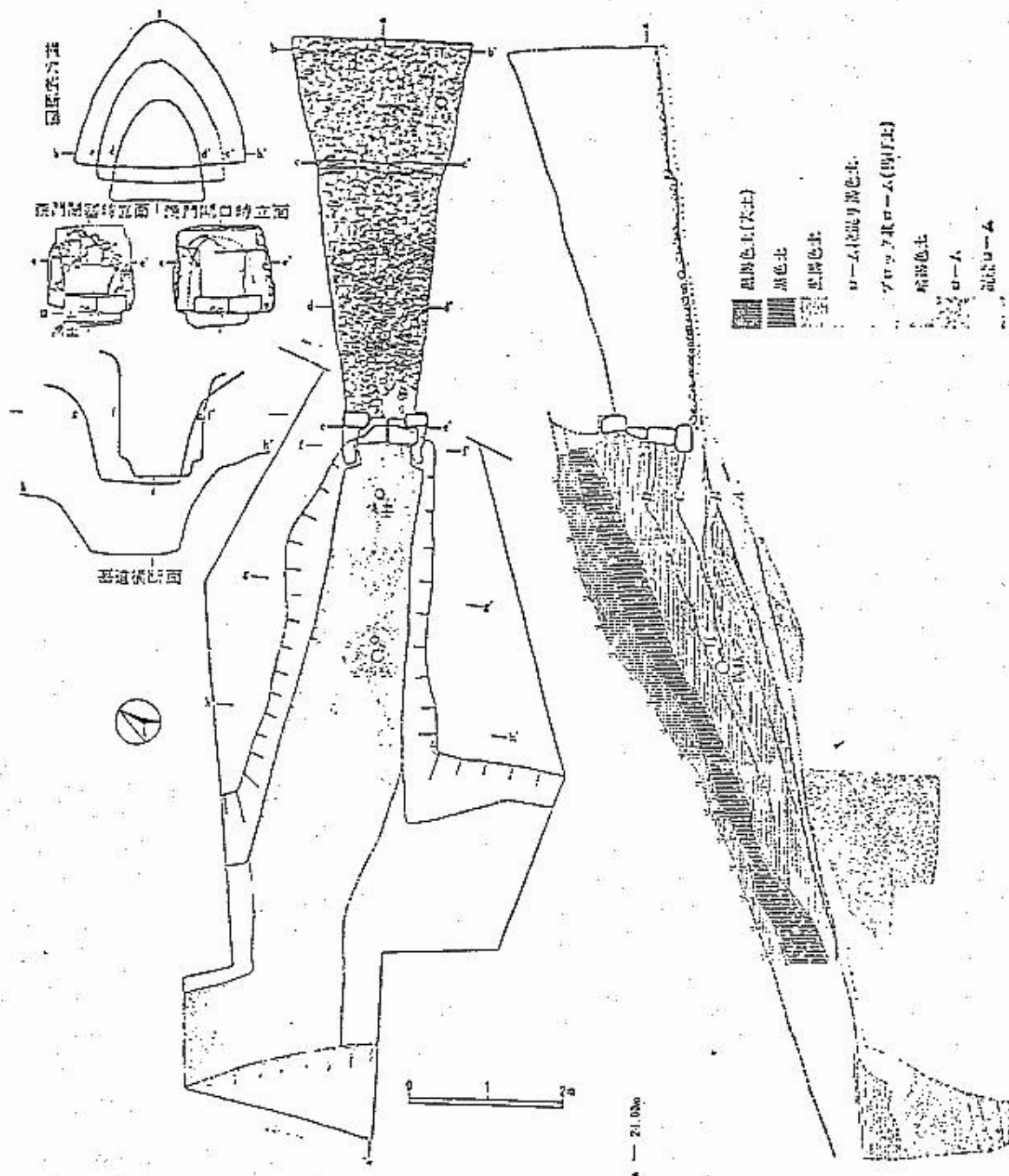


Fig 5 御岳山古墳出土土師器 (埋蔵室)



17. 等々力溪谷3号横穴墓（世田谷区等々力1・横穴墓・8世紀）

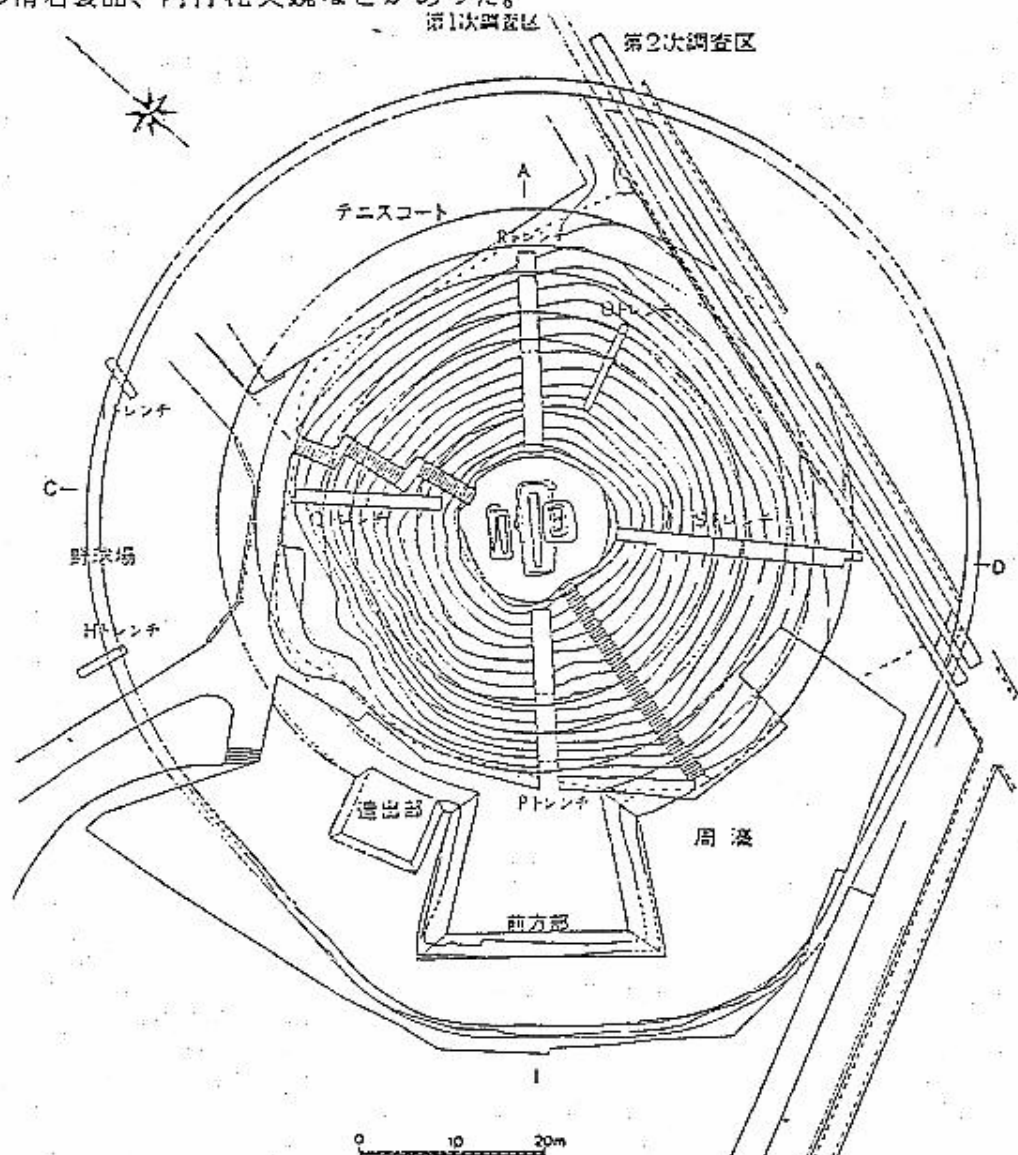
5基以上の横穴墓群であった。玄室1.6m、羨道3.3m。天井の最大高は1.9m。金銅製耳環、須恵器、土師器が出土。

比較的若い成人男性、成年ないし熟年の女性および小児という3個体の人骨が発見された。

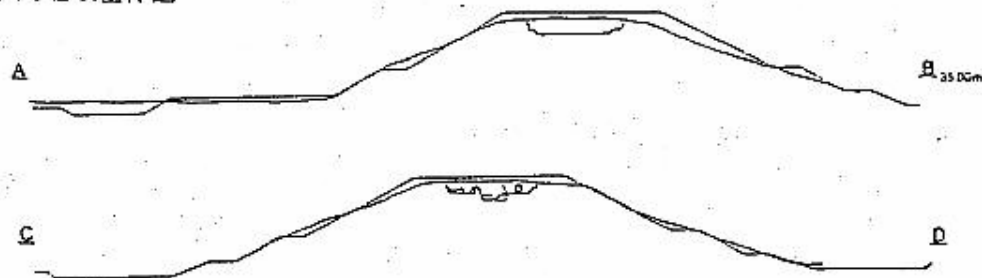
18. 野毛大塚古墳 (西宮縣1・帆立貝式前方後円墳・80m・5世紀初め)

墳丘には河原石の葺石あり。円筒、形象埴輪が並びたっていた。主体部は4基あった。第一主体部は粘土槨のなかに割竹形木棺を納めていた。副葬品は鉄鏃、直刀、甲冑などの武器や武具、刀、下駄、杯をかたどったミニチュアの滑石製品、内行花文鏡などがあつた。

4基あつた。第一主体部は粘土槨のなかに割竹形木棺を納めていた。副葬品は鉄鏃、直刀、甲冑などの武器や武具、刀、下駄、杯をかたどったミニチュアの滑石製品、内行花文鏡などがあつた。



野毛大塚古墳全体図



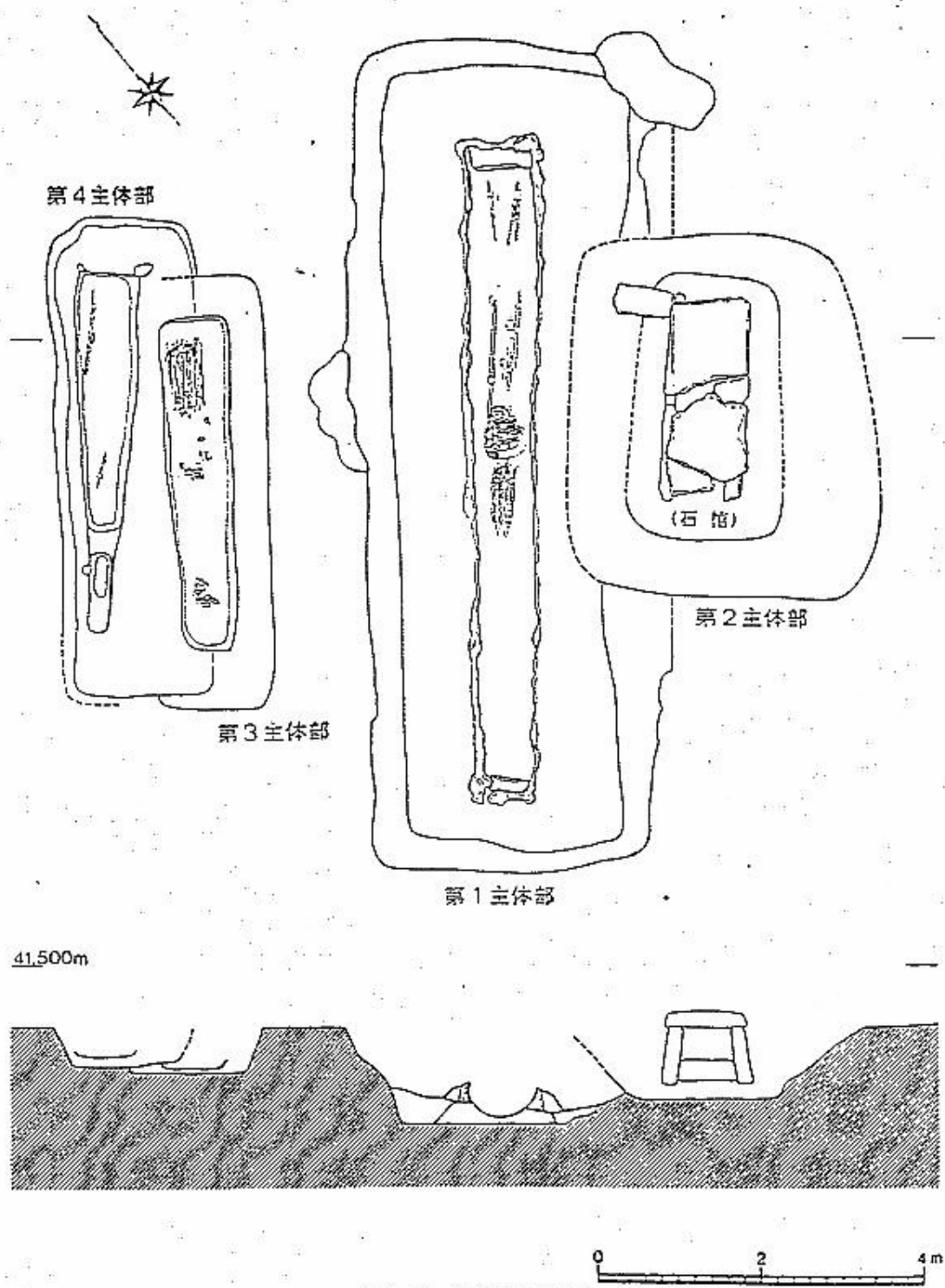
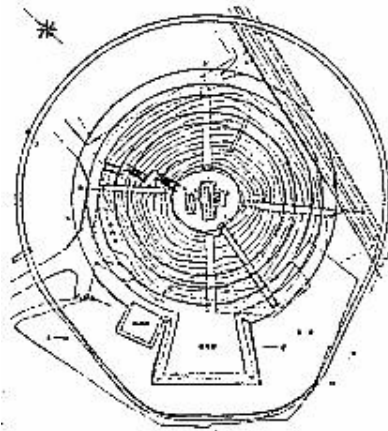
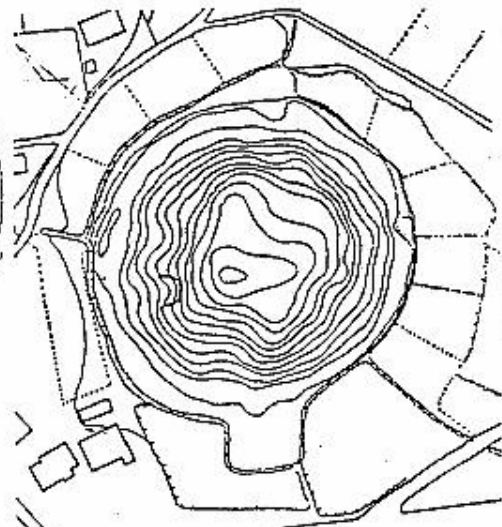


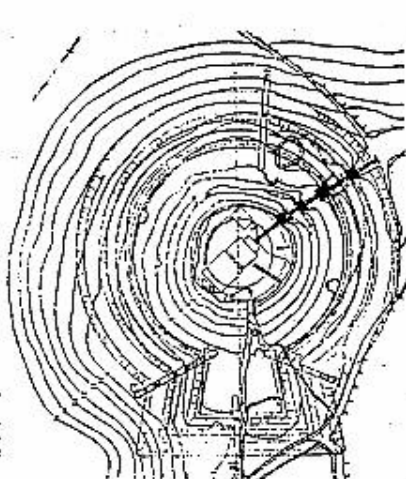
Fig. 3 主体部全体図



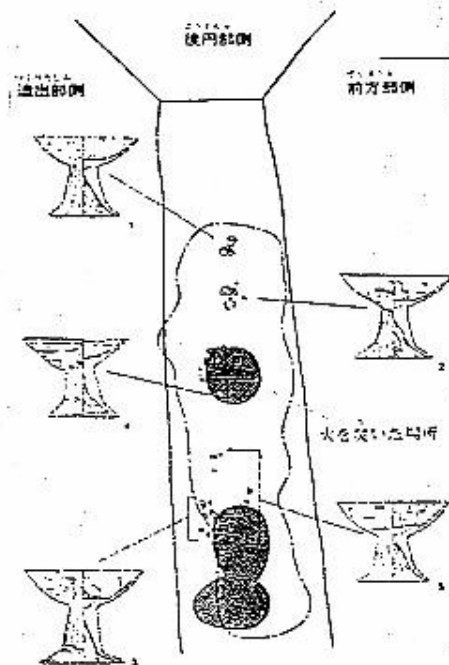
のけおびつつか
東京都野毛大塚古墳



じょたいさん
群馬県女体山古墳



埼玉県雷電山古墳

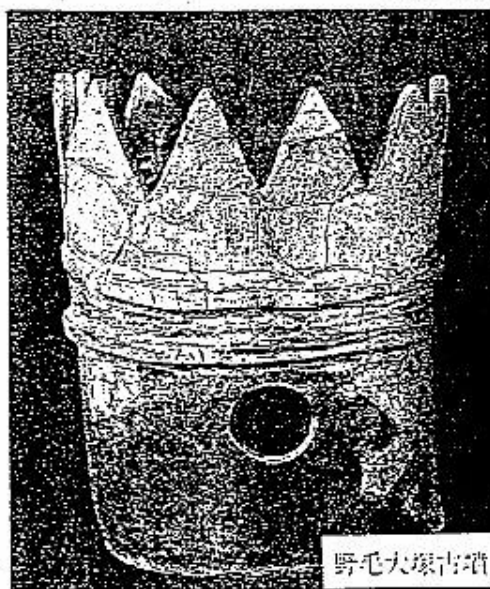


ぼぜんさいし
野毛大塚古墳の墓前祭祀

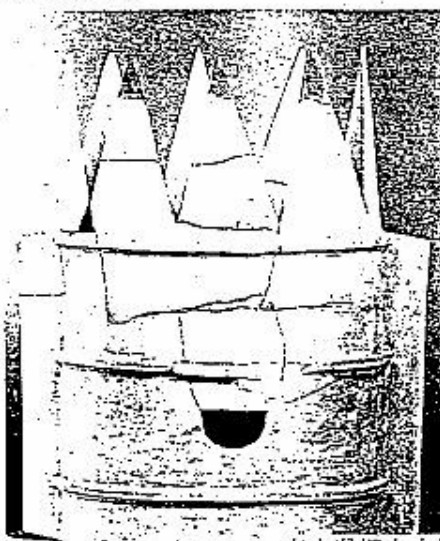
前方部と造出部の間の狭い周濠の底に土師器高坏と初期須恵器が供献されています。

また、この墓前祭祀をおこなう際に火を焚いた跡が3カ所以上みつかっています。

楕形埴輪と楕円筒埴輪



野毛大塚古墳



奈良県橿山古墳

(奈良県立橿原考古学研究所附属博物館提供)

古墳のはじまり

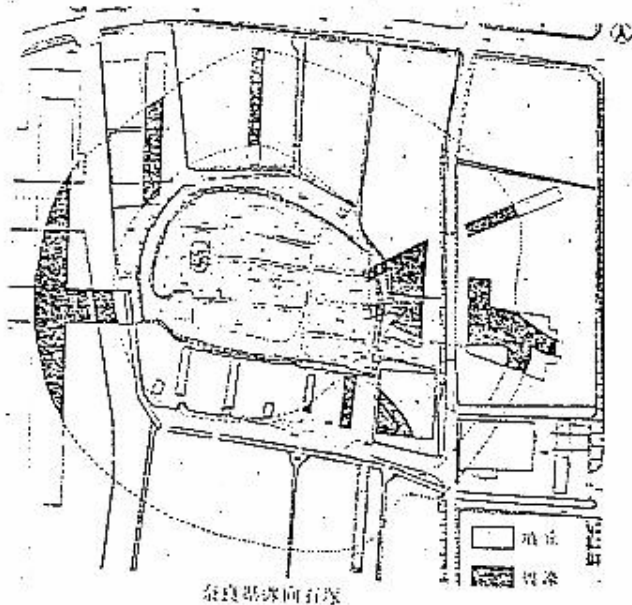
1. 古墳はいつごろから造られたのですか

以前は3世紀後半からと言われていました。現在は3世紀の前半ごろからという説が強くなってきました。

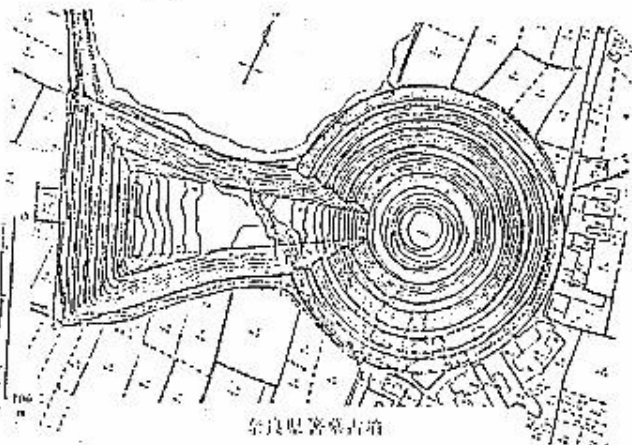
2. 一番古いのはなんという古墳ですか

一番古いといわれている古墳は奈良県桜井市にある箸墓古墳です。3世紀中頃に造られたとされ、邪馬台国の女王・卑弥呼の墓ではないかともいわれています。ただし、これは278mもある巨大古墳で、その前の同じような形をした60~90mクラスのものも「古墳」の中に入れれば、(これはその前の弥生時代の「墳丘墓(ふんきゅうぼ)」と考えて「古墳」としない説もある) その近くの経向(まきむく)石塚が3世紀前半のものとして一番古いこととなります。いずれにしても卑弥呼の時代・3世紀前半と古墳の造られた時代とがつながってきたのです。

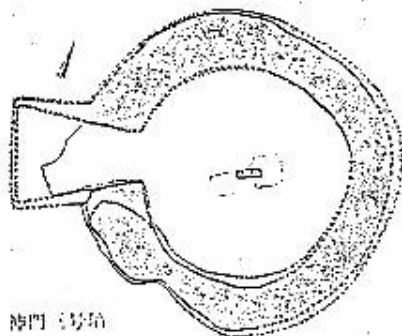
<また、関東にも経向石塚と同じようなかたちをした神門3、4、5号墳(千葉県市原市)、前方後方の高塚30、32号墳(千葉県木更津市)などの古い古墳があります>



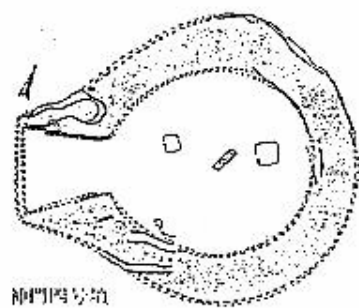
奈良郡経向石塚



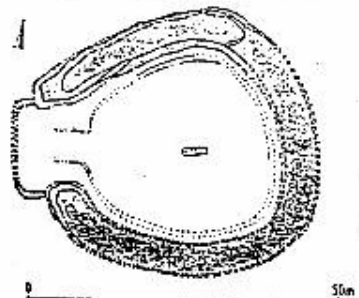
奈良県箸墓古墳



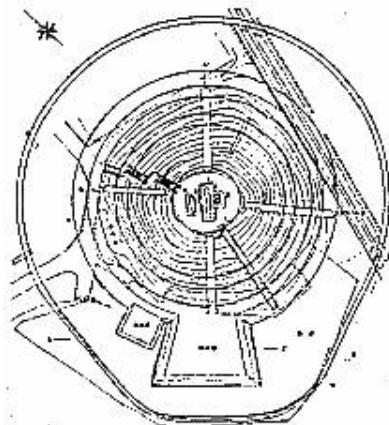
神門三号墳



神門四号墳



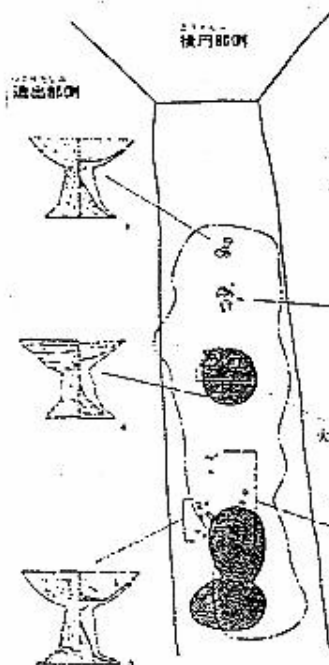
神門五号墳



のげおつつか
東京都野毛大塚古墳



埼玉県雷電山古墳



にょたいさん
群馬県女体山古墳
ぼぜんさいし
野毛大塚古墳の墓前祭祀

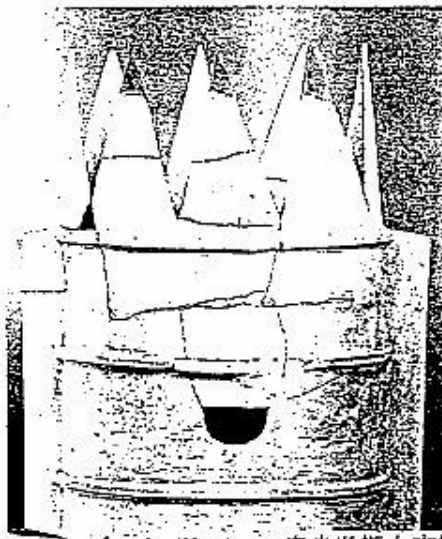
前方部と造出部の間の狭い周濠の底に土師器高坏と初期須恵器が供献されています。

また、この墓前祭祀をおこなう際に火を焚いた跡が3カ所以上みつかっています。

櫛形埴輪と楕円筒埴輪



野毛大塚古墳



奈良県極山古墳

(奈良県立橿原考古学研究所附属博物館提供)

古墳のはじまり

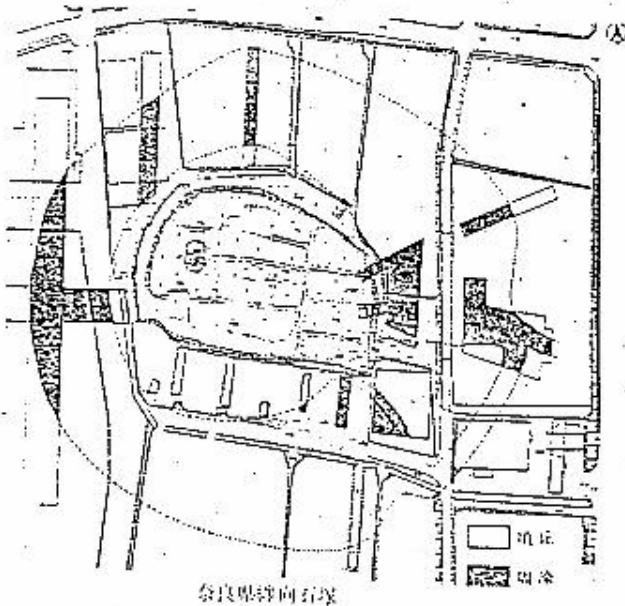
1. 古墳はいつごろから造られたのですか

以前は3世紀後半からと言われていました。現在は3世紀の前半ごろからという説が強くなってきました。

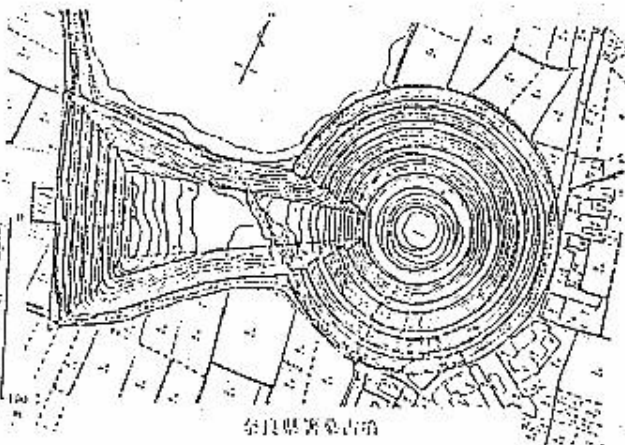
2. 一番古いのはなんという古墳ですか

一番古いといわれている古墳は奈良県桜井市にある箸墓古墳です。3世紀中頃に造られたとされ、邪馬台国の女王・卑弥呼の墓ではないかともいわれています。ただし、これは278mもある巨大古墳で、その前の同じような形をした60~90mクラスのものも「古墳」の中に入れて、(これはその前の弥生時代の「墳丘墓(ふんきゅうぼ)」)と考えて「古墳」としない説もある) その近くの纏向(まきむく)石塚が3世紀前半のものとして一番古いことになります。いずれにしても卑弥呼の時代・3世紀前半と古墳の造られた時代とが重なってきたのです。

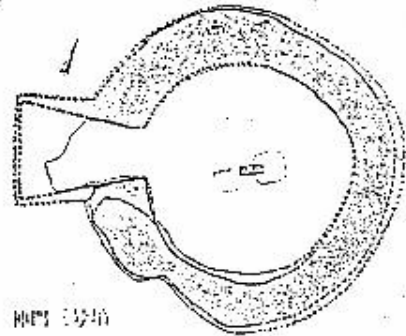
<また、関東にも纏向石塚と同じようなかたちをした神門3、4、5号墳(千葉県市原市)、前方後方の高塚30、32号墳(千葉県木更津市)などの古い古墳があります>



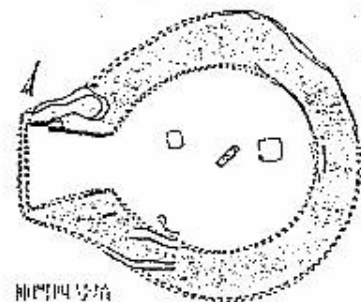
奈良県纏向石塚



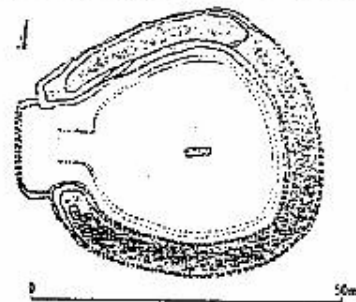
奈良県箸墓古墳



神門三号墳



神門四号墳



神門五号墳

五島美術館 庭園案内図

鑑賞 ● 世田谷区の南部。閑静な住宅街にある、庭園造りの様式を取り入れた建物が印象的な美術館。古美術鑑賞にはびつたりの趣ある空間だ。東急グループの創立者・五島慶太が平生をかけて収集した日本・東洋の古美術品をもとに60年に開館。奈良時代の写経から始まったコレクションは、墨跡(僧侶の書)へ、さらには茶の湯(茶道具)へと発展し、広がりを見せていった。さまざまな分野にわたる逸品が多く、古鏡を数多く収集している点も特徴。重要文化財も多い。これらの茶道具、中国陶磁器、絵巻と古筆や筆跡、古写経、古鏡、刀剣などの収蔵作品をローテーションさせて年に7回ほどの展覧会を開催。また、春と秋には特別展を開催している。当館の目玉である「源氏物語絵巻」(同書)や「紫式部日記絵巻」(同書)は、特に人気が高い。ただし、見られる期間は短く、「源氏物語絵巻」は毎年5月の1週間だけの展示となっている。目を確認してから出かけようがよい。

楽しみ ● 古美術作品の鑑賞もさることながら、見逃せないのが、この庭園である。6,000坪近い敷地には、石仏や石灯籠が緑のなかに点在していて、目を楽しませてくれる。庭園内には茶室もあり、ときおり茶会も催される。



Restored: Hayami Masao (Landscape Model) / Digital graphic: Takai Tetsuo (The Green Museum) / ©The Goshima Museum, 1999 P.A.

参考書

- P 1 シティマップル 全東京道路地図 98.9 昭文社刊
- P 3 甘粕 健(新潟大教授)「武蔵国造の反乱」再検討」より
-「武蔵国造の乱」大田区郷土資料館編 東京美術刊 H7.11
- P 4 浅間神社古墳 大田区郷土資料館編・郷土刊 H4.7
考古から見た 大田区-写真図録集- 大田区教育委員会郷土資料館編 大田区教委刊 H5.3
- P 5 同 上
- P 6 同 上
- P 7 東京都指定史跡宝薬山古墳 東京都指定史跡市物産協会 98.3
- P 8 田園綱布古墳群 大田区教育委員会郷土資料館編 S56.3
考古から見た 大田区-写真図録集- 大田区教育委員会郷土資料館編 大田区教委刊 H5.3
- P 9 世田谷区史料第8集 考古編 世田谷区編刊 S50.12
- P 10 世田谷区史料第8集 考古編 世田谷区編刊 S50.12
- P 11 野毛大塚古墳 野毛大塚古墳史跡公園 世田谷区教委刊 93.3
- P 12 同 上
- P 13 特別展「野毛大塚古墳の時代・畿内王権と古代の東国」
H12.1 世田谷区教育委員会編・世田谷区郷土資料館刊
同展パンフレット
H12.1 世田谷区教育委員会編・世田谷区郷土資料館刊
- P 13 「東国の古墳とは」 岩崎卓也 「東国の古墳」92.11 大塚初重編
雄山閣出版刊より